

**【質問】ラスビック点滴静注の投与時に注意すべきことは？**

**【回答】**

ラスビック点滴静注キット 150mg の投与時には、以下の点にご注意ください。

- ①本剤は 150mg あたり約 60 分間かけて点滴静注してください(30 分以内は避けてください)。
- ②他剤及び輸液と配合した場合に、配合変化が認められているものがあるため、本剤を他剤及び輸液と配合しないでください。なお、同一の点滴ラインによる他剤及び輸液との同時投与は避けてください。
- ③本剤はヘパリンナトリウムと配合変化が認められているため、静脈内カテーテル留置を行う際、ヘパリンナトリウムによる血液凝固防止(ヘパリンロック)前後は、ルート内を生理食塩液又は 5%ブドウ糖注射液で洗浄(フラッシング)してください。
- ④本剤と他の薬剤を同一の輸液チューブにより連続注入する場合には、生理食塩液又は 5%ブドウ糖注射液を本剤の投与前後に輸液チューブ内に流してください。
- ⑤薬液バイアルは、薬剤の投与が終わるまで支持筒から抜き取らないでください。
- ⑥使用後の残液は使用しないでください
- ⑦通気針は不要です。
- ⑧専用希釈液ボトルの目盛りはおよその目安として使用してください

**<解説>**

①承認までの国内臨床試験(PhⅡ、Ⅲ)では、150mg/100mL あたり約 1 時間かけて点滴静注し、約 30 分以内の点滴静注を避けるよう規定して投与を行いました。その結果、いずれの試験でも安全性上の大きな問題は報告されていなかったことから、投与時間は「本剤 150mg あたり約 60 分間かけて点滴静注すること(30 分以内は避けること)」としました。

なお、薬液と専用希釈液を混合後の全液量は、100mL です。

②他剤及び輸液と配合した場合、配合変化が認められています。配合変化試験結果はインタビューフォームを参照ください。

同一の点滴ラインによる他剤及び輸液との同時投与すると、点滴ライン中での結晶析出等が起きる可能異性があります。本剤を他剤及び輸液と配合して投与した臨床試験は実施していません。

③ヘパリンナトリウムと本剤を配合した場合、白濁し、ゲル状の沈殿が析出します。

④他剤と配合した場合、配合変化が認められているため、同一の輸液チューブにより連続注入した場合には点滴ライン中で結晶析出等が生じることがあります。

⑤汚染防止のため、薬液バイアルは、薬剤の投与が終わるまで支持筒から抜き取らないでください

⑥安定性及び無菌性の維持の観点から使用後の残液は破棄し、再使用や保存をしないでください。

⑦通気針を使用し無くても、点滴が可能です。

⑧専用希釈液ボトルの目盛り線は、目安であり、正確な内容量を示すものではありません。

出典：添付文書、インタビューフォーム